

経営比較分析表（令和3年度決算）

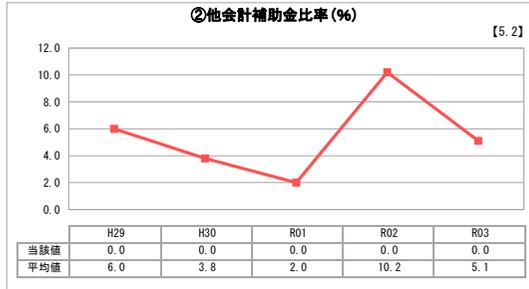
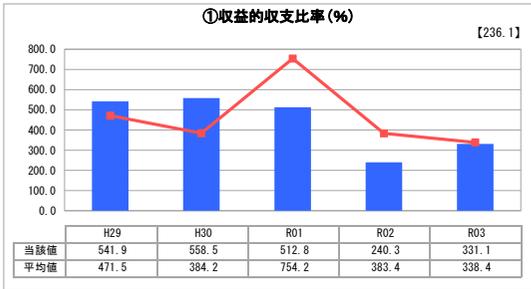
茨城県石岡市 市営駅東駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	44	

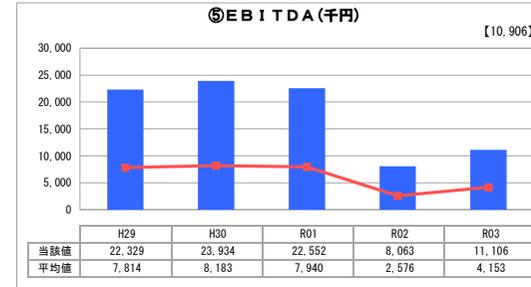
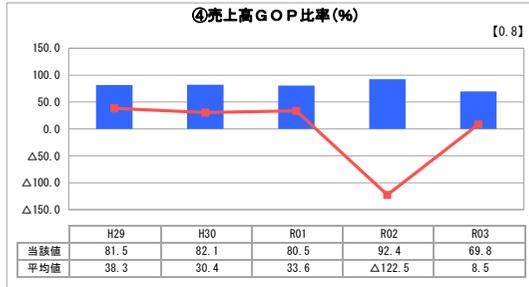
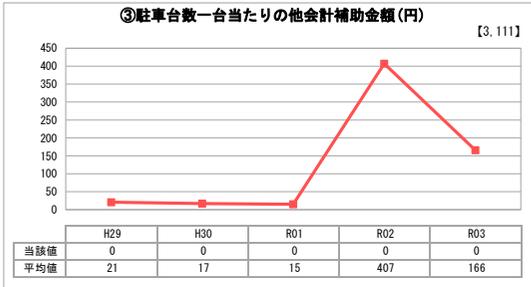
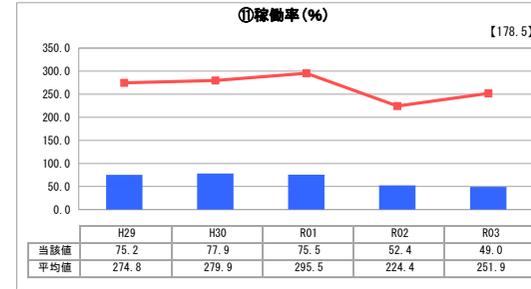
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	7,090
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
290	200	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 当該施設の収支は安定して黒字である。令和3年度決算による収益等の状況については、①収益的収支比率は類似施設平均値を若干下回っているものの、全国平均値を上回っており、前年度より改善している。
 ④売上高GOP比率は前年度から比べ減少しているものの、類似施設平均値、全国平均値をともに大きく上回っている。
 ⑤EBITDAも前年度より改善し、類似施設平均値、全国平均値を上回っている。
 他会計からの補助金もで推移していることから、新型コロナウイルス感染症の影響により施設利用が減少する情勢であっても、他会計からの繰入等に依存しない独立採算制の高い運営を行っている。

2. 資産等の状況について
 累積欠損額や企業債残高はないが、供用開始から44年が経過しているため、路面舗装や精算機等の施設の経年劣化が見てとれる。
 計画的に修繕を実施していくことで、施設の長寿命化を図り、継続使用を進めていく必要がある。

3. 利用の状況について
 稼働率の過去5年間の経年比較については、平成30年度までは増加傾向で推移していた。令和元年度は、減少が見られたもののほぼ前年度並みを保っていた。令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと見られる稼働率の低下が顕著であり、令和3年度も同様の状況により前年度と同水準となっている。
 令和4年度の稼働率は、前年度と比べ増加傾向にあり、令和4年度決算では令和2年度、令和3年度の稼働率よりも回復していくと見込んでいる。

2. 資産等の状況

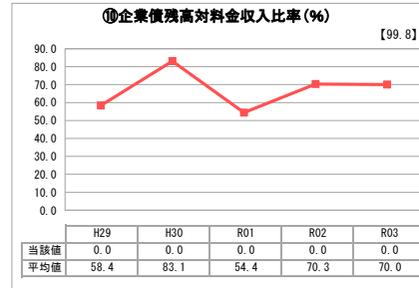


⑧敷地の地価(千円)

219,010

⑨設備投資見込額(千円)

46,502



全体総括
 当該施設はJRの駅前という好立地から、駐車場としての需要もあり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、安定した黒字経営を続けている。
 しかしながら、施設は供用開始から40年以上が経過しているため、長期的に考えると、多額の修繕が必要になると見込まれる。
 今後も駐車場事業として、健全な経営を継続していくために、収益規模や今後の修繕経費を見越した運営方法への見直し、指定管理者制度やPFIなどの民間活力の導入も視野に入れて検討して行く必要がある。